

2006年6月26日



## ヒマラヤ国際映画祭 TOKYO 2006

ヒマラヤ国際映画祭実行委員会は、2006年8月、「ヒマラヤ国際映画祭 TOKYO2006」を東京にて開催します。「ヒマラヤ国際映画祭」はヒマラヤに関する世界の秀作を上映する唯一の国際映画祭。2003年にオランダのアムステルダムで始まりました。東京開催では、「ヒマラヤをきっかけに人間と自然との関係（人間地球環境）を再考する」をテーマに、NHKと連動して「映画祭」を多角的に実施します。

今年2006年は、日本登山隊が1956年に世界に先駆けヒマラヤのマナスル峰（8,163メートル）に登頂してから50周年。この偉業により戦後疲弊していた日本は自信と誇りを取り戻しました。2006年は日本とヒマラヤの国・ネパールが国交を樹立してから、やはり、50周年にあたります。

我々は2006年を「ヒマラヤ元年」と位置づけ、「ヒマラヤ国際映画祭」プロジェクトを通じて、ヒマラヤの魅力、アジアの多様性、ひいては、地球環境問題を皆様と共に考えることが出来ればと願っております。さらに関連イベントとしてシンポジウム「地球温暖化にどう立ち向かう」を開催します。

■ 名称：ヒマラヤ国際映画祭 Tokyo2006

■ 主催・共催：（主催）NHK インターナショナル / ヒマラヤ・アーカイブ・ネーデルランド  
（共催）NHK

■ 後援：環境省（予定） / インド大使館 / パキスタン大使館 / オランダ王国大使館  
日本山岳会 / 日本勤労者山岳連盟

■ 協賛：関西電力 / シブヤテレビジョン / アクエリアム

■ 協力：NEDO 技術開発機構 / 毎日映画社

■ 開催期間：2006年8月14日～17日 & 19日～22日（8日間）

■ 上映会場：NHKふれあいホール（NHKホール前）

■ 内容：

➢ ヒマラヤ関連の世界の秀作ドキュメンタリー16本上映

\*上映日程、入場料等詳しくは公式サイト <http://www.himalaya-tokyo.net> をご覧下さい。

➢ 関連シンポジウム：“地球温暖化にどう立ち向かう～ヒマラヤから日本へ（仮題）”

\*このシンポジウムはNHKで放送される予定（『NHKBSフォーラム』；開催日：2006年8月1日（火）14時30分～16時00分 / 場所：NHK千代田放送会館ホール / パネリスト：小池百合子環境大臣、西澤潤一首都大学東京学長ほか。入場無料。放送予定日時：2006年8月12日（土）18時～19時 NHK衛星第2テレビ）

<http://www.himalaya-tokyo.net>

ヒマラヤ国際映画祭 Tokyo2006 事務局

〒150-0042 渋谷区宇田川町7-13 第二共同ビル 財団法人 NHK インターナショナル内  
Tel. 03-3464-1823 Fax. 03-3770-1829

## ● 組織委員会

- 委員長： 西澤 潤一（首都大学東京学長）  
副委員長： グレン・ミトレイシング（ヒマラヤ・アーカイブ・ネーデルランド代表）  
吉田圭一郎（NHKインターナショナル理事）  
実行委員： 田部井 淳子（アルピニスト）  
イサム高野（フォトグラファー）  
秋元耕士（シブヤテレビジョン社長）  
顧問： 平山善吉（日本山岳会会長）  
三浦 雄一郎（冒険家）  
事務局長： 田中 邦彦（映像作家、ヒマラヤ・アーカイブ・ネーデルランド）  
事務局次長： 山本 博之（NHKインターナショナル）  
吉浜 泰蔵（シブヤテレビジョン）  
監事： 国見昭郎（国際メディアコーポレーション監査役）

## ● 連絡先

ヒマラヤ国際映画祭 Tokyo2006 事務局  
〒150-0042 渋谷区宇田川町 7-13 第二共同ビル 財団法人 NHK インターナショナル内  
TEL: 03-3464-1823 FAX: 03-3770-1829  
E-mail: [tanaka@himalaya-tokyo.net](mailto:tanaka@himalaya-tokyo.net)

## ● 上映作品（全16作品）

- ◆ 『運命の高峰』“*The Fatal Game*” (52min.) (James Heyward / ニュージーランド)
- ◆ 『ヒマラヤの空から』“*A Higher Calling*” (45min.) (Neal Michaelis / アメリカ)
- ◆ 『“死の領域”を越えて』“*Trio for one*” (57 min.) (Shay J. Katz / フランス)
- ◆ 『チベットの高僧』“*Call it Karma*” (48 min.) (Geoff Browne / カナダ)
- ◆ 『エベレストの娘たち』“*Daughters of Everest*” (56min.) (Sapana Sakya / ネパール)
- ◆ 『メルトダウン～氷河融解』“*Meltdown*” (50min.) (Richard Heap / イギリス)
- ◆ 『遊牧民と呼ばれて』“*A Man Called Nomad*” (40min) (Alex Gabbay / ネパール・中国)
- ◆ 『盲目のクライマー』“*Farther than the Eye Can See*” (75min.) (Michael Brown / アメリカ)
- ◆ 『雲龍の国へ』“*Into the Thunder Dragon*” (47min.) (Scan White / カナダ)
- ◆ 『天国の森』“*Timber to Tibet*” (30min.) (Mohan Mainali / ネパール)
- ◆ 『戦火にさらされる学校』“*Schools in the Crossfire*” (52 min.) (Dhurba Basnet / ネパール)
- ◆ 『シャーマン』“*The Spirit Doesn't Come Anymore*” (40min.) (Tsering Rhitar / ネパール)
- ◆ 『マナスルに立つ』(100min.) (山本嘉次郎 / 日本)
- ◆ 『歌声はヒマラヤの彼方に』“*Bhedako Oon Jasto...in search of song...*” (55min.)  
(Kiran Krishna Shrestha / ネパール)
- ◆ 『神の車』“*On the road with the red god: MACHHENDRANATH*” (75min.)  
(Kesang Tseten / ネパール)
- ◆ 『遙かなるガンジス』“*Indian Journeys: Shiva's Matted Locks*” (50 min.)  
(William Dalrymple / イギリス)